

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	医療福祉論Ⅱ 1単位 15時間 (制度活用の実際)		
開講時期	3年次 前期		
担当教員	原田雄一	実務経験	有
<p><科目のねらい> 医療現場における社会福祉制度の活用方法の実際について学ぶ。</p> <p><到達目標> 1. 医療・看護と社会福祉との関連がわかる。 2. さまざまな職種間での連携の重要性を理解する。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 社会福祉援助とは ・ 援助とは ・ 「生活（ライフ）」の三側面 ・ 社会福祉援助技術の分類	講義	
2回目	1. 個別援助技術（ケースワーク） ・ 生活援助の特徴 ・ 生活支援の展開過程 ・ ナラティブ・アプローチ、その他のアプローチ方法	講義	
3回目	1. 面接技法 事例検討会、ケア会議、担当者会議の進め方	グループワーク	
4回目	1. 集団援助技術（グループワーク） ・ 集団の特性 ・ 集団援助の独自性 ・ 集団援助の展開過程	講義 グループワーク	
5回目	1. 間接援助技術と関連援助技術 2. 社会福祉援助の検討課題 ・ 倫理のディレンマ ・ エンパワメント、アドボカシー、セルフヘルプ・グループ	講義	
6回目	1. 連携の重要性 ・ 医療提供システムと変化 ・ 病診連携、官官連携、 ・ 医療ソーシャルワーカーとは	グループワーク	
7回目	1. 連携の場面とその方法 ・ 職種間連携とは ・ 医療機関における連携 ・ 地域包括ケアシステム	グループワーク	
8回目	筆記試験		
評価方法	筆記試験（1時間） グループワークの内容等の総合評価		
受講生に対するメッセージ	医療福祉論Ⅰを復習して学びましょう。 事例を通して患者・利用者の課題を理解し解決方法や利用サービスを考察しましょう。 多職種連携の意義や方法を身につけましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度③ 社会福祉 医学書院		
参考書			